青森市町会連合会事務局発行
事務局だより
第105号59・3
TEL 34－2584

市の部長と町連幹部の語る会

日時　二月三日　一時　場所　市議会控室
出席者、市側、総務部長代理篠崎参事
建設部長〃　工藤参事
逢坂福祉部長
三国谷生活環境部長
加藤教育次長、外職員
町連側　岩谷会長外、副会長五名、事務局長

町連各部からの話題

（総務部）
(一) 市では五十九年度予算を10％減の方針ときいているが、当連合会関係の補助金については、従前通りの予算額を継続していただきたい。
(二) 学区の問題で、町会の臨時総会で決定した後、市側で一方的に変更してもらっては、町会の立場上、極めて遺憾である。
(三) 冠婚葬祭の合理化運動推進のため、市としても協力してほしい。
（建設部）
(一) 除排雪に対する市のサービスは現状を低下せぬようお願いしたい。
（交通安全部）
(一) 交通安全運動に対する予算は増額できないか。
(二) 地区の安全運動パレードへ市長又は部長も出席してほしい。
(三) 交通安全運動は目標をもっと絞ったものにしてはどうか。
（環境衛生部）
(一) 冬期間閉鎖のゴミ収集所の再検討
(二) リサイクル運動は今后も継続してほしい。
(三) 乾電池収集について市の対応策はどうなっているか。
（福祉部）
(一) 他団体と提携して、冠婚葬祭の合理化に取りくむ計画だが、市でも広報などでとりあげてほしい。
弘前市では、一万円以下の会費制結婚カップルに市長の色紙を贈っている。
（事務局）
(一) **ゴミ収集の民間委託について**
市直営のゴミ収集を民間委託にする経費は、約1/3ですむと言われている。収集は民間で、処理場管理、収集計画等は市で行うようにしてはどうか。市直営は民間委託の三倍かかるというが常識であると思うが。市は都市経営の指導理念と科学的管理技法の見地から、市民のため、効率的な運営を選択してほしい。
(二) **保護世帯の認定について**
保護世帯の中には、マイカー、ステレオ、クーラー、電話を設置し、かなりの生活水準で生活し、一部市民から批判されているようだが、もっと審査をきびしくし、形式的な調査だけでなく、常時生活の実態を把握し、認定の方法等について再検討すべきでないか。
(三) **ホームヘルパーの民間委託について**
現在、市には、ホームヘルパー（家庭奉仕員）は三十名で、非常勤嘱託の月給制（週五日制）であるが地方自治資料センターの調査では、家政婦協会へ頼んで派遣した場合、大体一時間一、〇〇〇円の経費ですむが、常勤職員で実施している市では、一時間五、〇〇〇円についているという。民間の五倍の経費である。青森市の場合、民間委託にした場合、経費の節減にならないだろうか。
(四) **「市長と語る市民のつどい」の効率的な運営のために**
標題については、一月地区長へアンケートをお願いしている。市側でも、今後の効率的な運営をはかるため、ご意見を伺いアンケートの結果を参考に今後、改善の方向をみつけたい。

以上は、各部と事務局からの話題であるが、市からのお話は別紙に掲載することとし、次ぎに地区連合会長からのアンケート回答から、「市長と語る市民のつどい」についてのご意見欄をA、B、Cに分けてすべて移記してみた。

「市長と語る市民のつどい」について地区長の意見

(A) **＜一般町民からの当日質問＞**
1. 一般町民からの問題は、町会で解決できる問題もある筈、質問者の認識不足は無用の混乱を起す。
2. タテマエとして一般市民の意見も取り上げるべきと思うが、現実には、各個人的問題まで取り上げると収拾できなくなる。現在のままでよいと思う。
3. 「市長と語るつどい」は各部長も出席するので、大変よいと思う。例え保留の件があっても、町民は納得している。ただ、二時間の時間を少しのばして、一般町民の声も聞けるようにしたら良いと思う。
4. 時間の問題もあるが、突発的でも参加住民の提出した問題もとり上げてほしい。
5. 町会役員は町民から選ばれた人達で住民とは委任関係にあると思う。従って無視するわけではないが、町民からの意見を取り上げることは、混乱が生じると思う。
6. 一般町民の意見もとり上げる必要はあるが、時間の制約で困難だが今後役員会等で検討してなるべく自由発言の時間をとるよう工夫すべきである。
7. 一般参加者からの要望事項についても採択できる方向で検討したい。

(B) **＜要望と意見＞**
1. 今後も継続実施してほしい。
2. 開催希望地区は毎年でも実施してほしい。
3. 市当局の予算もあるでしょうが。もう少し、誠意があってもよい。
4. 奈良岡市政時代のように、各部長はくわしく説明してほしい。
5. 当地域は駅前で青森市の玄関口であり、大きい問題が山積している。市とのコミュニケーションをはかり、アイデアを出し合い環境改善して市政の発展に結びつけたい。
6. 質問事項が市にとって都合わるい問題或は市長の耳に入れたくないものは、窓口機関でカットされている。私どもはこの機会こそ、卒直に市長、行政側と意見の交換をはかり理解を深めたいと思っている。
7. 八問要望したが、三問は解決されました。残りの問題について是非また開催したいと思います。

(C) **＜「つどい」に対する評価＞**
1. 直接行政に反映することができ、成果が高く評価されている。今後も積極的にとりくんでほしい。
2. 地域の要望が殆と完成され感謝する。今後とも実施されたい。
3. 市民から直接問題の解答がなされ、市長、町会長、町民のコミュニケーションの場としてよい。
4. 大きい事業（区画整理、集会所建設）を除いて解決されている。
5. 当地区は毎年各町会から問題点をあげ、広報広聴課を通して要望書を提出して効果をあげているが、三年に一回位の割合で、この会を開催し、更に実効を期したい。
6. 今迄のところ良好であった。
7. 当連合会の問題は、大部分解決されたので、住民は満足である。
8. 市長の親切な回答により、行政に信頼もわき、市政に協力する雰囲気がかもされ、有意義な行事と思う。
9. 特に支所管内は、市長と直接話し合う機会が少いので、住民と行政のコミュニケーションが強まり、理解と協力を得る上に誠に有意義である。
10. 予算が伴うので要望通りにはいかないが、実施された意義はあったと思う。